

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
マロニエ医療福祉 専門学校	平成7年3月31日	入江吉晴	〒 328-0027 栃木県栃木市今泉町2丁目6番22号 (電話) 0282-28-0030		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 産業教育事業団	平成59年12月24日	川嶋武美	〒 328-0012 栃木県栃木市平柳町2丁目1番38号 (電話) 0282-28-0020		
目的	<p>(1) 基本的介護の知識・技術・態度を修得し、様々な身体障害・生活障害のレベルに即応した介護の役割を果たす能力を養う。</p> <p>(2) 介護を必要とする人々が、自らの生活意欲を高め、自立ができるように援助する能力を養う。</p> <p>(3) 保健・医療・福祉関係者および地域住民などと協働しながら社会の中で介護の役割を果たす能力を養う。</p> <p>(4) 自己の人的成長・発達と介護の質の向上をめざして、自ら主体性を持って学習研究する態度を養う。</p>				
課程名	学科名	就業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	2年(昼)	2,090時間	平成14年2月27日文 部科学大臣告示第 26号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	890 単位時間 (又は単位)	300 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	450 単位時間 (又は単位)	450 単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	39人	3人	3人	6人	
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前期 : 4月1日～9月30日</li> <li>■ 後期 : 10月1日～3月31日</li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成績表 <input checked="" type="checkbox"/>有・無)</li> <li>■ 成績評価の基準・方法について 優 : 90点以上 良 : 89～75点 可 : 74点～50点 不可 : 50点未満</li> </ul>		
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学年始め : 4月第1週</li> <li>■ 夏季 : 7月第4週～8月第4週</li> <li>■ 冬季 : 12月第4週～1月第1週</li> <li>■ 学年末 : 3月第3週から3月末</li> </ul>	卒業・進級条件	本校所定の課程を修了した者		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クラス担任制 <input checked="" type="checkbox"/>有・無)</li> <li>■ 長期欠席者への指導等の対応 本人、保護者に対する面談</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課外活動の種類 ボランティア活動を必須単位とする</li> <li>■ サークル活動 <input checked="" type="checkbox"/>有・無)</li> </ul>		
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主な就職先、業界 社会福祉施設、病院</li> <li>■ 就職率 100 %</li> </ul>	主な資格・検定	介護福祉士国家資格		
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中途退学者4名 ■ 中途率 8.5%</li> <li>平成25年4月1日在学者47名(平成25年4月入学者を含む)</li> <li>平成26年3月31日在学者43名(平成26年3月卒業者を含む)</li> <li>■ 中途退学の主な理由 体調不良、進路変更</li> <li>■ 中退防止のための取組 日常的な出欠動向をチェックして、面談を行う。福祉専門職への動機づけ強化。</li> </ul>				
ホームページ	URL <a href="http://www.maronie.jp">http://www.maronie.jp</a>				

1. 教育課程の編成			
(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)			
<p>社会福祉学科、福祉心理学科、介護福祉学科はどの学科も国家資格取得を目指す学科である。今後、社会の高齢化と少子化が進む中で、一人一人のクライアントの自立した生活を支えていくためには、きちんとした価値観を備えた福祉専門職の養成が急務である。しかし、各学科に入学してくる学生は、動機が多様化しており、また、学力の格差は広がる一方である。専任教員の教育力の向上とともに、学生の学習の動機づけ及び単なる学力を超えた実践力の養成には、専任教員と現場とが連携して、実習演習および通常の学内授業を行ってことが不可欠である。</p>			
(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)			
平成26年4月1日現在			
No	名 前	所 属	
1	非常勤講師	高井正己	マロニエ医療福祉専門学校
2	非常勤講師	山口佳志	マロニエ医療福祉専門学校
3	非常勤講師	石網秀行	マロニエ医療福祉専門学校
4	①職能団体推薦委員	永島光枝	栃木県社会福祉士会
5	③社会福祉学科外部委員	松島陵介	社会福祉法人うまぐりの里ゆーあい工房
6	③福祉心理学科外部委員	渡部眞江	社会福祉法人なすびの里
7	③介護福祉学科外部委員	北條豊	合同会社あゆみの森
8	校長	入江吉晴	マロニエ医療福祉専門学校
9	福祉学部長	樽林行雄	マロニエ医療福祉専門学校
10	社会福祉学科・福祉心理学科長	中島賢二	マロニエ医療福祉専門学校
11	介護福祉学科長	金久保浩	マロニエ医療福祉専門学校
(開催日時)			
第1回	平成26年10月予定	18:00～18:45	
第2回	平成27年1月予定	18:00～18:45	
2. 主な実習・演習等			
(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)			
○介護実習			
①介護とは何かを理解・再認識し、それを実践する基礎的能力を習得する学びの場であること。			
②学校で学んだ学習を、実習生が実習の現場で自分自身の体験を通して、利用者それぞれに異なる介護の実践から個性を理解していくこと。			
③介護を行う者としての働く姿勢や職業倫理を身につけ、介護という職業の意義深さや、常に利用者の人権を守り、介護の本質を探究する基本的な姿勢を学ぶ。			
科目名	科目概要	連携企業等	
介護実習Ⅰ-1	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から、様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術などの確認、現場の中での介護福祉士の役割について理解・学習する。	無量荘、デイホームあゆみ、エバーグリーンみずほの、デイホーム風のさんぽ道、いずみの里 (総数11)	
介護実習Ⅰ-2	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から、様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術などの確認、現場の中での介護福祉士の役割について理解・学習する。また、利用者の状態像を観察し、レクリエーションを実施する。	ひまわり荘、清明苑、ケアハウス公孫樹、うづま荘、グリーンホーム (総数12)	
介護実習Ⅱ	個別ケアを行うために個々の生活リズムを理解し利用者の生活課題を明確にした上で、利用者の目標達成型の介護計画の作成、実施、実施後の評価、評価を踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学んだ知識や技術を統合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を養成する。	栗林荘、万葉、宮の里、かみつが、トータスホーム (総数12)	

3. 教員の研修等			
(教員の研修等の基本方針)			
平成21年度より実施された社会福祉士および介護福祉士養成教育カリキュラムの見直し及び平成24年度より実施された精神保健福祉士養成教育カリキュラムの見直しに伴い、教員研修が義務付けられたので、教員研修を受講することで、本校での教員研修に代えてきた。平成25年度をもってすべての専任教員が実習・演習担当教員研修を受講したので、平成26年度からは個々の教員の課題に対応し、実務に関する教員研修を実施していきたい。			
4. 学校関係者評価			
(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)			
平成26年4月1日現在			
No		名 前	所 属
1	非常勤講師	高井正己	マロニエ医療福祉専門学校
2	非常勤講師	山口佳志	マロニエ医療福祉専門学校
3	非常勤講師	石網秀行	マロニエ医療福祉専門学校
4	①職能団体推薦委員	永島光枝	栃木県社会福祉士会
5	③社会福祉学科外部委員	松島陵介	社会福祉法人うまぐりの里ゆーあい工房
6	③福祉心理学科外部委員	渡部眞江	社会福祉法人なすびの里
7	③介護福祉学科外部委員	北條豊	合同会社あゆみの森
8	校長	入江吉晴	マロニエ医療福祉専門学校
9	福祉学部長	樽林行雄	マロニエ医療福祉専門学校
10	社会福祉学科・福祉心理学科長	中島賢二	マロニエ医療福祉専門学校
11	介護福祉学科長	金久保浩	マロニエ医療福祉専門学校
(学校関係者評価結果の公表方法)			
URL: <a href="http://www.maronie.jp">http://www.maronie.jp</a>			
5. 情報提供			
(情報提供の方法)			
URL: <a href="http://www.maronie.jp">http://www.maronie.jp</a>			

## 授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 介護福祉学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技
必修	選択必修	自由選択								
○			人間の尊厳と自立	人間の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できる為の基礎となる能力を養う。	1前期	30	2	○		
○			人間関係とコミュニケーション	介護実践の為に必要な人間の理解や、他者への情報の伝達に必要な、基礎的なコミュニケーションを養う。	1前期	30	2	○	△	
○			社会の理解	個人が自立した生活を営むという事を理解する為、個人、家族、近隣、地域、社会の単位で人間を捉える視点を養い、人間の生活と社会の関わりや、自助から公助に至る過程について理解	2通年	60	4	○		
○			社会理論と社会システム	社会理論による現代社会の捉え方、生活、人と社会、社会問題について理解する。	1後期	30	2	○		
○			現代社会と福祉	現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係、福祉原理をめぐる理論と哲学、福祉政策におけるニーズ、資源、課題、及び構成要素や関連政策、相談援助活動との関係について理解する。	1通年	60	4	○		
○			地域福祉の理論と方法	地域福祉の基本的考え方、地域福祉の主体と対象、地域福祉にかかる組織、団体及び専門職の役割と実際、地域福祉の推進方法について理解する。	1通年	60	4	○		
○			社会保障	現代社会における社会保障制度の課題、社会保障の概念や対象及びその理念、公的保険制度と民間保険制度の関係、社会保障制度の体系と概要、年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容、諸外国における社会保障制度の概要について理解する。	1通年	60	4	○		
○			介護の基本1	介護を必要とする人の尊厳保持や自立支援を目指した介護を展開するために、セーフティマネジメントのあり方、その基盤となる介護従事者の安全に関する理念や理論、知識を学ぶ。	1通年	120	8	○		
○			介護の基本2	介護福祉士として、他職種との協働やケアマネジメントなどの制度のしくみをふまえ、具体的な事例について介護を展開できる能力を養う。	2通年	60	4	○		
○			コミュニケーション技術	介護が対人援助職であることを理解しそのコミュニケーションのあり方、具体的な利用者・家族に対する技法、ならびに多職種間におけるコミュニケーション技法について学習し、習得する。	1通年	60	4	○	△	

○		生活支援技術1	家事などの基本支援を提供していく上での基本行動の理解と知識、技術を学び、現場での実践で活用できる能力を養う。また、対象となる人の生活上のニーズを把握し、具体化する方法や、生活の衛生管理と楽しみとなることを目的とした介護のプロセス方法を学ぶ。	1 通年	120	8	△	○
○		生活支援技術2	よりよい介護とは何かについて学習し、食事・排泄・入浴に関する基本的な知識を習得する。また、利用者の心身状態を理解し、自立に向けた適切な介助の方法について、利用者との関係者の視点から考え、効果的な介助方法を習得する。	2 通年	180	12	△	○
○		介護過程	他科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程の立案を行い、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。また場面や環境の変化に柔軟に対応したケアの提供が求められていることを理解し、目標を長期的かつ短期的な視点で捉える。	2 通年	150	10	△	○
○		介護総合演習1	専門科目で得た基本的な知識および技術を実習を通じて実践するための具体的方法について学び、個々の学生が持つ関心対象や疑問・不安等に焦点をあて、自信を持って実習に臨めるようにする。また実習で体験した様々な内容について分析考察し、自己覚知へとつなげ、高い専門性と倫理性を養う。	1 通年	60	4	△	○
○		介護総合演習2	個々の利用者の生活背景や生活リズムを理解し、必要な情報を収集し、自立支援の観点から実際の面での介護過程の展開能力を育成する。	2 通年	60	4	△	○
○		介護実習Ⅰ-1	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から、様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術などの確認、現場の中での介護福祉士の役割について理解・学習する。	1 後期	120	4		○
○		介護実習Ⅰ-2	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から、様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術などの確認、現場の中での介護福祉士の役割について理解・学習する。また、利用者の状態像を観察し、クリエーションを実施する。	2 前期	150	5		○
○		介護実習Ⅱ	個別ケアを行うために個々の生活リズムを理解し、利用者の生活課題を明確にした上で、利用者の目標達成型の介護計画の作成、実施、実施後の評価、評価を踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学んだ知識や技術を統合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を養成する。	2 後期	180	6		○

○		発達と老化の理解	人間の加齢に伴う身体の発達と新たな可能性の広がりという意味を含む老化について学ぶ。さらに高齢者のかかりやすい疾患やそれに伴う障害を理解し、その人の生活のどのような事柄に介護福祉士として留意すればよりよい利用者への援助ができるのかを学ぶ。	1 通年	60	4	○		
○		認知症の理解	認知症に関する基礎知識を習得し、認知症の人やその家族を支える介護の基礎知識を習得する。また、意思表示が困難になりやすいという認知症の特性、家族を含む周囲環境の影響を理解する。	1 通年	60	4	○		
○		障害の理解	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず、家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。また、地域におけるサポート体制や多職種協働のあり方についても学ぶ。	1 通年	60	4	○	△	
○		こころとからだのしくみ	介護技術の根拠となる人体の構造や機能について理解し、また、介護サービス提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する。	1 通年	120	8	○		
○		医療的ケア基本研修	医療的ケア実践に関連する法制度や倫理、関連職種の役割、救急蘇生法、感染予防及び健康状態の把握など、医療的ケアを安全・適切に実施する上での基礎を修得する。	2 前期	50	3	○		
○		医療的ケア演習	喀痰吸引:口腔5回以上、鼻腔5回以上 気管カニューレ内部5回以上 経管栄養:胃ろう又は腸ろう5回以上 経鼻経管栄養5回以上	2 後期	30	2	○		
○		福祉ボランティア	自発的なボランティア体験により、様々な福祉の現場を体験する。また、地域における社会資源としての本校の位置づけを理解する。	1・2 通年	60	2			○
○		情報科学Ⅰ	ワードの基本的知識と操作方法を理解する。	1 前期	30	2			○
○		情報科学Ⅱ	エクセルの基本的知識と操作方法を理解する。	2 前期	30	2			○
合計				27 科目	2090時間(		124単位)		